

2011年度業績

研究発表

原著論文

- *T. Hasegawa, T. Nogawa, and K. Nemoto, "Percolation on complex networks and nonamenable graphs", TJASSST'11 (Tunisian Japanese Symposium on Science, Society and Technology 2011), Hammamet, Tunisia, November 11-13, 2011
Properties of Nambu-Goldstone Bosons in a Single-Component Bose-Einstein Condensate.
- T. Kita: J. Phys. Soc. Jpn. 80 (2011) 084606.*
- T. Kita: J. Phys. Soc. Jpn. 80 (2011) 124704.*
Self-Consistent Approximations for Superconductivity beyond the Bardeen-Cooper-Schrieffer Theory.

学術講演（国際学会・国際シンポジウム）

学術講演（国内学会・国内その他）

一般公演(口頭発表)

- *能川知昭、長谷川雄央、根本幸児：「Cayley treeとそのdual graphにおけるPotts modelの境界条件依存相転移」、日本物理学会2011年秋季大会、講演番号22aEC-9、富山、2011年9月21日～24日
- 泉田勇輝*、奥田浩司
"非線形不可逆熱機関の最大仕事率時の効率"、
日本物理学会2011年秋季大会（富山大学、2011年9月21日-24日）講演番号22pGA-4
- 1. 北 孝文*
「ボーズ・アインシュタイン凝縮理論の基礎を再考する」
日本物理学会2011年秋季大会（富山大学）講演番号22aEA-3
- 2. 北 孝文*
「FLEX近似の超伝導状態への拡張」
日本物理学会2011年秋季大会（富山大学）講演番号23pGH-9

一般公演(ポスター発表)

- 星名実*、奥田浩司
「2成分混合気体におけるDufour効果のMDシミュレーション」
日本物理学会2011年秋季大会（富山大学, 2011年9月21日-24日）講演番号22pPSB-50
- *今野敬太、長谷川雄央、根本幸児：「感染が引き起こすネットワークのパーコレーション転移と次数相関の関係」、日本物理学会2011年秋季大会、ポスター番号22pPSB-1、富山、2011年9月21日～24日
- *長谷川雄央、今野敬太、根本幸児：「感染が引き起こすネットワークのパーコレーション転移と次数相関の効果」、第8回ネットワーク生態学研究会、湘南台、2012年3月15～16日
- 1. 北 孝文*
「場の量子論によるボーズ・アインシュタイン凝縮相の非平衡統計力学」
基研研究会2011「非平衡系の物理 -ミクロとマクロの架け橋」2011年8月18-20日

国際学会及び国際シンポジウムの組織

該当なし

在外研究

該当なし

科研費・助成費の取得状況

- 北 孝文：科学研究費補助金 基盤研究（C）（一般）1,040千円
「新たな自己無撞着摂動展開法によるボーズ・アインシュタイン凝縮相の理論的研究」

その他

根本幸児
東京大学物性研究所附属物質設計評価施設
スーパーコンピュータ共同利用課題審査委員会委員